

補助事業番号：23-2-053

補助事業名：平成23年度法人格を持たない団体に対して行う支援補助事業

補助事業者名：社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

心身障害児とその家族を対象として総合的に療育相談を行い、障害児ごとに適切な療育相談を行うとともに、全国各地域の父母団体と協力し合い、障害児のための各種の福祉活動を実施し、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

ア. (福) 全国心身障害児福祉財団が行う事業

(ア) 障害児及び家族に対する療育相談の実施

本財団療育相談センターに来所した障害児とその家族に対して、医師及び専門家による診断助言を行い、適切な療育指針を提供した。また、療育指導の手引き書を3,000部作成して特別支援学校・障害児関係施設及びセンター来所者等へ広く配布した。

(イ) 障害児及び家族に対する治療訓練

(i) 障害児及び家族に対するグループ治療訓練

障害児を発達状況に応じて数人ずつのグループに分け、それぞれのグループに対して治療訓練プログラムを実施した。また、母親に対しても同時並行してカウンセリングを行った。

(ii) 障害児及び家族に対する個別治療

特に心理及び言語の面で問題をかかえる障害児に対して、それぞれ個別の治療訓練を行った。

(ウ) 障害児・者父母団体地域指導者養成研修

地域レベルでの障害児(者)父母団体の連携を図るためのリーダーの養成研修と競輪への理解を深めるための競輪講座を全国6会場で1泊2日の日程で開催した。(参加者合計161名)

7月8日～9日 大分県別府市(別府競輪場・ホテルサンバリーアネックス)35名

9月16日～17日 富山県富山市(富山競輪場・カナルパークホテル富山)33名

10月14日～15日 新潟県西蒲原郡(弥彦競輪場・弥彦グランドホテル)33名

2月17日～18日 広島県広島市(広島競輪場・広島サンプラザ)28名

3月30日～31日 香川県高松市(高松競輪場・高松国際ホテル)32名



3月30日～31日 香川県高松競輪場

(エ) 発達障害幼児に対する早期支援事業

発達障害幼児の早期発見・支援を行うため、専門家チームによる訪問支援活動を実施するとと

もに、保育士・教諭に対して専門性向上のための研修会を3地域で実施するとともに発達障害に関わる情報誌を作成し、関係機関に配布した。また、指定した幼稚園・保育所及びその周辺の幼稚園・保育所等の園児・保護者を対象として、スクリーン映像をまじえた読み聞かせコンサート「子育て支援フェスタ」を開催した。

イ. (社)日本筋ジストロフィー協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

筋ジストロフィー患者及び家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(4,600部)を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(4,600部)を6回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

全国の筋ジストロフィー患者の家族のために療育相談活動を実施した。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある筋ジストロフィー患者及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために集団キャンプを日帰り6回一泊二日18回行い、総合相談会を6回実施した。(参加者合計1,335名)

日帰り

- 6月26日 旭川グランドホテル(北海道旭川市)参加者43名
- 7月23日 国民宿舎ひびき(福岡県宗像市)参加者43名
- 7月30日 障害者スポーツセンター(愛知県名古屋市)参加者46名
- 10月8日 沖縄病院デイケア棟(沖縄県宜野湾市)参加者48名
- 11月13日 カギワダみかん園(神奈川県足柄上郡)参加者55名
- 1月22日 ピュアリティまきび(岡山県岡山市)参加者43名



7月30日障害者スポーツセンター(愛知県名古屋市)

一泊二日

- 6月11日～12日 ホテル金沢(石川県金沢市)参加者56名
- 7月2日～3日 ゆのくに天祥(石川県加賀市)参加者37名
- 7月2日～3日 水明荘(鳥取県東伯郡)参加者44名
- 8月27日～28日 三国観光ホテル(福井県坂井市)参加者47名
- 9月3日～4日 ホテル泉慶(新潟県新発田市)参加者53名
- 9月3日～4日 高崎ビューホテル(群馬県高崎市)参加者44名
- 9月10日～11日 長浜ロイヤルホテル(滋賀県長浜市)参加者40名

- 9月10日～11日 富士レークホテル(山梨県南都留郡)参加者44名
- 9月11日～12日 ホテルエピナール那須(栃木県那須郡)参加者44名
- 9月18日～19日 ホテルレオパレス博多(福岡県福岡市)参加者44名
- 9月24日～25日 愛知県青年の家(愛知県岡崎市)参加者45名
- 9月24日～25日 いわき荘(青森県弘前市)参加者48名
- 10月1日～2日 長浜ロイヤルホテル(滋賀県長浜市)参加者44名
- 10月1日～2日 ビレッジ安曇野(長野県安曇野市)参加者28名
- 10月1日～2日 フルーツ・フラワーパーク(兵庫県神戸市)参加者44名
- 10月21日～22日 芙蓉倶楽部(大分県別府市)参加者44名
- 10月29日～30日 ニューウェルシティ出雲(島根県出雲市)参加者44名
- 11月26日～27日 ホテルニセコいこいの村(北海道虻田郡)参加者44名



11月26日～27日 ホテルニセコいこいの村

総合相談会

- 6月4日～5日 グランドパーク小樽(北海道小樽市)参加者40名
- 6月11日～12日 ホテルレオパレス博多(福岡県福岡市)参加者40名
- 7月24日～25日 松江障害児者訓練センター(島根県松江市)参加者44名
- 9月3日～4日 ホテル千秋閣(岩手県花巻市)参加者40名
- 10月22日～23日 ホテルサンルート有明(東京都江東区)参加者40名
- 11月19日～20日 あいち健康プラザ(愛知県知多郡)参加者59名



10月22日～23日 ホテルサンルート有明

ウ. 全国ことばを育む会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

言語障害児及び家族に対してさまざまな情報や療育技術の解説を内容とした指導誌(6,000部)

を6回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

言語障害児及び家族に対する療育指導を積極的に奨めるために治療教育相談を実施した他、全国の言語障害児の家族のための療育相談活動を実施した。(参加者合計709名)

- 6月11日 能代市子ども館(秋田県能代市)参加者40名
- 6月25日 土佐市保健福祉センター(高知県土佐市)参加者40名
- 7月10日 金沢市教育プラザ富樫(石川県金沢市)参加者40名
- 8月5日 那珂市総合センターらぼーる(茨城県那珂市)参加者40名
- 8月27日 総合社会福祉センター(青森県三沢市)参加者44名
- 9月10日 総合保健福祉センター(福岡県小郡市)参加者42名
- 9月10日 パレット大崎(宮城県大崎市)参加者40名
- 9月17日 苫小牧オートリゾート(北海道苫小牧市)参加者40名
- 10月1日 まなみーる(北海道岩見沢市)参加者40名
- 10月29日 伊那小学校(長野県伊那市)参加者40名
- 11月13日 スターツ研修センター(茨城県つくばみらい市)参加者40名
- 11月19日 しゃきっとプラザ(北海道網走郡)参加者42名
- 11月27日 のとふれあい文化センター(石川県鳳珠郡)参加者40名
- 12月10日 松江市中央小学校(島根県松江市)参加者41名
- 12月18日 ふれあいの里さかもと(徳島県勝浦郡)参加者40名
- 1月14日 浜松市立青少年の家(静岡県浜松市)参加者40名
- 2月26日 本郷公民センター(岐阜県関市)参加者60名

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある言語障害児及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを5回、二泊三日のキャンプを2回実施した。

(参加者合計 一泊二日234名 二泊三日198名)

一泊二日

- 9月3日～4日 屈斜路プリンスホテル(北海道川上郡)参加者50名
- 9月17日～18日 花巻市金矢温泉(山形県花巻市)参加者40名
- 10月1日～2日 県立大山青年の家(鳥取県西伯郡)参加者52名
- 10月8日～9日 アップレハウス(富山県高岡市)参加者44名
- 10月22日～23日 東海大学三保研修館(静岡県静岡市)参加者48名

二泊三日

- 8月19日～21日 波戸岬少年自然の家(佐賀県唐津市)参加者138名
- 10月8日～10日 屋島少年自然の家(香川県高松市)参加者60名

エ. 全国難聴児を持つ親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

難聴児及び家族に対して、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(4,500部)を4回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

全国の難聴児の家族のための療育相談活動を実施した。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある難聴児及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを3回、二泊三日の集団キャンプを2回下表のとおり実施した。
(参加者合計 一泊二日129名 二泊三日149名)

一泊二日

- 8月25日～26日 アイプラザ一宮(愛知県一宮市)参加者45名
- 9月10日～11日 いよやかなの郷(大阪府岸和田市)参加者39名
- 11月5日～6日 かんぼの宿白山尾口(石川県白山市)参加者45名

二泊三日

- 7月29日～31日 緑の学園(新潟県南魚沼市)参加者59名
- 9月23日～25日 屋島少年自然の家(香川県高松市)参加者90名



9月23日～25日 屋島少年自然の家

オ. (社) 日本自閉症協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

自閉症児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(16,000部)を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(16,000部)を6回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

自閉症とその家族に対する療育指導を積極的に奨めるために治療教育相談を8回実施した。(参加者合計762名)

- 7月24日 ウィリング京都(京都府京都市)参加者37名
- 8月6日 ウィリング横浜(神奈川県横浜市)参加者55名
- 8月18日 三重県総合文化センター(三重県津市)参加者316名
- 9月18日 サンライフ北見(北海道北見市)参加者110名
- 9月25日 ウィルあいち(愛知県名古屋市)参加者53名
- 10月8日 アピオ青森(青森県青森市)参加者72名
- 11月27日 鹿児島大学鶴陵会館(鹿児島県鹿児島市)参加者55名
- 11月27日 水戸市福祉ボランティア会館(茨城県水戸市)参加者64名

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある自閉症児及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させ

るために一泊二日の集団キャンプを5回実施した。(参加者合計316名)

7月30日～31日 かんぽの宿白山尾口(石川県白山市)参加者54名

7月31日～8月1日 清野旅館(群馬県利根郡)参加者54名

8月6日～7日 アミティ舞洲(大阪府大阪市)参加者60名

8月7日～8日 那珂川苑(栃木県那須郡)参加者54名

8月12日～13日 乙女溪谷キャンプ場(岐阜県中津川市)参加者94名

カ. (社) 全国肢体不自由児・者父母の会連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

肢体不自由児及びその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(7,000部)を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(7,200部)を2回発行して配布した。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある肢体不自由児及び家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを3回、二泊三日の集団キャンプを4回実施した。(参加者合計 一泊二日178名 二泊三日212名)

一泊二日

7月31日～8月1日 グランドホテル雨宮館(北海道音更町)参加者53名

10月15日～16日 青島観光ホテル(宮城県宮崎市)参加者53名

11月5日～6日 ニューウェルネスリゾートオキナワ(沖縄県名護市)参加者72名



11月5日～6日ニューウェルネスリゾートオキナワ

二泊三日

7月27日～29日 マリーナホテル湖月(栃木県日光市)参加者53名

8月17日～19日 波戸岬少年の自然の家(佐賀県唐津市)参加者53名

10月8日～10日 ゆの宿和どう(埼玉県秩父市)参加者53名

12月25日～27日 セツ森希望の家(宮城県黒川郡)参加者53名

(ウ) 指導者養成研修

障害者の自立更進行を促進する指導者を養成するために、全国を7ブロックに分けて、それぞれ研修会を実施した。(参加者合計192名)

8月19日～21日 ホテルさっぽろ弥生(北海道札幌市)参加者22名

9月30日～10月2日 ホテル紫苑(岩手県盛岡市)参加者24名

10月15日～17日 鳥羽シーサイドホテル(三重県鳥羽市)参加者27名

11月5日～7日 糸柳(山梨県笛吹市)参加者36名

- 11月11日～13日 ホテルパールガーデン(香川県高松市)参加者31名
- 11月25日～27日 熊本交通センターホテル(熊本県熊本市)参加者30名
- 12月2日～4日 休暇村紀州加太(和歌山県和歌山市)参加者22名



8月19日～21日 ホテルさっぽろ弥生

キ. 全国聾学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

ろうあ児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(11,000部)を1種類、さまざまな情報や伝達を目的とした会報(11,000部)を3回発行して配布した。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

ろうあ児とその家族に対する療育指導を積極的に奨めるために治療教育相談を5回実施した。
(参加者合計331名)

- 6月23日 福岡リーセントホテル(福岡県福岡市)参加者99名
- 10月13日 長岡グランドホテル(新潟県長岡市)参加者103名
- 11月19日 茨城県立水戸聾学校(茨城県水戸市)参加者180名
- 2月18日 香川県立聾学校(香川県高松市)参加者38名
- 3月3日 東京都立葛飾聾学校(東京都葛飾区)参加者70名

(ウ) 聴覚障害生徒スポーツ振興事業

ろうあ児の体力向上を通して意欲的な人間を育てるために、陸上競技大会と卓球大会を下表のとおり実施した。

- 陸上競技大会 9月30日～10月2日 岡山県総合グランド(岡山県岡山市)
- 卓球大会 11月4日～6日 駒沢オリンピック公園体育館(東京都世田谷区)

ク. 全国盲学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

盲学校へ通う盲児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌2冊(5,500部)を発行して配布した。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある盲学校へ通う盲児とその家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプ実施した。

- 8月19日～20日 埼玉県民活動総合センター(埼玉県北足立郡)参加者49名

(ウ) 視覚障害生徒スポーツ振興

盲児の体力向上を通して意欲的な人間を育てるために、野球大会を開催した。

8月17日～19日 時津町海と緑の運動公園(長崎県西彼杵郡)参加者119名

ケ. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

病弱虚弱児とその家族に対して療育技術の解説を内容とした指導誌(4,500部)を発行して配布した。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔離された状況にある病弱虚弱児とその家族に対し、将来への生きる指針を獲得させるために一泊二日の集団キャンプを4回実施した。(参加者合計 248名)

7月16日～17日 伊予ロジ(山梨県北杜市)参加者72名

8月6日～7日 いこいの村あしがら(神奈川県足柄上郡)参加者64名

8月22日～23日 吉良の庄(愛知県西尾市)参加者54名

10月22日～23日 コミュニティ嵯峨野(京都府京都市)

(ウ) 社会復帰のための社会適応講座の開催

学校卒業を目前にした病弱虚弱児に対して社会適応のための実践的な指導講座を6回実施した。(参加者合計 171名)

12月15日 茨城県立産業技術短期大学校他(茨城県水戸市)参加者18名

3月14日 敬和学園大学(新潟県新発田市)参加者24名

3月17日 ホテルポートプラザちば他(千葉県千葉市)参加者33名

3月25日 江東区総合区民センター(東京都江東区)参加者47名

3月26日 日本社会事業大学他(東京都東久留米市)参加者14名

3月31日 八景島シーパラダイス(神奈川県横浜市)参加者35名

コ. (社)日本てんかん協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

てんかん児とその家族に対してさまざまな情報や伝達を目的とした会報(6,900部)を12回発行して配布した。また、てんかんについての療育技術等の情報誌を1回発行した。

サ. 全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

養護学校に通う知的障害児とその家族に対してさまざまな情報や伝達を目的とした会報(29,000部)を2回発行して配布した。

シ. 全国視覚障害児(者)親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

視覚障害児とその家族に対してさまざまな情報や伝達を目的とした会報(2,000部)を2回発行して配布した。

ス. 全国肢体不自由養護学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

養護学校に通う肢体不自由児とその家族に対してさまざまな情報や伝達を目的とした会報(9,000部)を1回発行して配布した。

セ. (財)日本ダウン症協会が行う事業

(ア) ダウン症児・者の自転車教室

運動能力が劣るダウン症児・者に自転車教室を前期・後期で開催した。

会場 サンライズ糸山(愛媛県今治市)

日程 前期 10月8日～9日 後期11月12日～13日

参加者 40名

2. 予想される事業実施効果

ア. (福) 全国心身障害児福祉財団が行う事業

(ア) 障害児及び家族に対する療育相談の実施

本財団療育相談センターの受診で得た知識と自信によって、今後の家庭での生活に向けて大きな支えとなっていくことが期待される。また、療育指導書を発行することで、来所者や関係者の療育についての知識の向上に役立と予想される。

(イ) 障害児及び家族に対する治療訓練

それぞれの状況に応じた適切な治療訓練を受けたことで、実際の生活環境を一層広げていくことが期待される。

(ウ) 障害児(者)父母団体地域指導者養成研修

競輪補助金の知識や認識を深めた事で今後行われる補助事業に関しても再認識して事業実行するものと思われる。また、普段はあまり交流の無い団体同士が、互いの意見を交換しあう事でお互いを理解することができたと予想される。

(エ) 発達障害幼児に対する早期支援

園内研修会では、発達障害児の特性を学ぶことで、発達障害児や配慮が必要な子どもの行動の共通理解と一貫性のある支援へと結びつくことが期待される。

訪問支援活動では、園内での保育場面において子どもの様子を観察し、その場において指導・支援の具体的な方法をモデル提示することによって、子どもの特性に応じたより望ましい具体的な関わりへの気付きと実践に結びつくことが期待される。

子育て支援情報誌を配布することにより、これからの子育てに対する実践教育に結びつくことが期待される。

子育て支援フェスタを開催する事によって親子のふれあいを深めたとともに、子ども達の情操教育に役立つと期待される。

イ. (社) 日本筋ジストロフィー協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌(紙)の発行

筋ジストロフィー患者及び家族が療育技術やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

最新の医療技術に基づく効果的な療育指針を得たことにより、今後安定した健康保持への意識が向上することが予想される。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得することで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

ウ. 全国ことばを育む会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

言語障害児及び家族が、療育技術やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

最新の治療教育水準を獲得したことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

エ. 全国難聴児を持つ親の会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

難聴児及び家族にとって、療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

難聴児及びその家族が、最新の療育水準を獲得したことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得することで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

オ. (社) 日本自閉症協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

自閉症児とその家族が、療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

自閉症児者とその家族が、療育指導を行ったことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(ウ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

日頃社会から隔絶された状況にある自閉症児とその家族に対して、将来への生きる指針を獲得させることができたことで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

カ. (社) 全国肢体不自由児・者父母の会連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

肢体不自由児及び家族が、療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(ウ) 指導者養成研修

障害者の自立更生を促進する指導者の技術を一層充実させることで、障害者の自立更生の可能

性と範囲が広まっていくことが期待される。

キ. 全国聾学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

ろうあ児とその家族が療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 心身障害児対策の無料検診

ろうあ児とその家族に最新の治療教育水準を獲得したことで、社会参加への明るい希望と自信を持つことが予想される。

(ウ) 聴覚障害生徒スポーツ振興事業

ろうあ児の体力向上を通して意欲的な人間形成に寄与することで、ろうあ児の社会参加の可能性を拡大していくことが予想される。

ク. 全国盲学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

盲学校へ通う盲児とその家族が療育技術の解説やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(ウ) 視覚障害生徒スポーツ振興

盲児の体力向上を通して意欲的な人間形成に寄与することで、盲児の社会参加の可能性を拡大していくことが予想される。

ケ. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

病弱虚弱児とその家族が療育技術やさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

(イ) 障害児と保護者の相互理解と将来への指針

将来への生きる指針を獲得させることで、地域社会に積極的に溶け込み、しいては明るい人生を歩んでいくことが期待できる。

(ウ) 社会復帰のための社会適応講座の開催

実践的な意欲と技術を獲得することで、社会参加への自覚と責任を持って意欲的な人生を歩んでいくことが予想される。

コ. (社) 日本てんかん協会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

てんかん児とその家族がさまざまな情報を自分のものとし生かしていくことが予想される。

サ. 全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会が行う事業

(ア) 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

特別支援学校知的障害教育校に通う知的障害児とその家族がさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

シ. 全国視覚障害児（者）親の会が行う事業

(ア) . 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

視覚障害児とその家族がさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

ス. 全国肢体不自由養護学校PTA連合会が行う事業

(ア) . 障害児の親のための指導誌（紙）の発行

肢体不自由特別支援学校に通う肢体不自由児とその家族がさまざまな情報を自分のものとして生かしていくことが予想される。

セ. (財) 日本ダウン症協会が行う事業

(ア) . ダウン症児・者の自転車教室

自転車に乗れるようになったことが本人たちの自信となり、今後ますます活動を積極的に行っていくことが予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

ア. (福) 全国心身障害児福祉財団

気になる子どもへの支援ハンドブック A5判 320頁 3,000部

子育て支援情報誌1号 A4判 20頁 4,000部

子育て支援情報誌2号 A4判 20頁 4,000部

子育て支援情報誌3号 A4判 20頁 4,000部

イ. (社) 日本筋ジストロフィー協会

一日も早くNo.263 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.264 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.265 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.266 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.267 B5判 12頁 4,600部

一日も早くNo.268 B5判 12頁 4,600部

療育 B5判 66頁 4,600部

ウ. 全国ことばを育む会

ことばNo.256 B5判 20頁 6,000部

ことばNo.257 B5判 20頁 6,000部

ことばNo.258 B5判 20頁 6,000部

ことばNo.259 B5判 20頁 6,000部

ことばNo.260 B5判 20頁 6,000部

ことばNo.261 B5判 20頁 6,000部

エ. 全国難聴児を持つ親の会

べるNo.153 B5判 28頁 4,500部

べるNo.154 B5判 24頁 4,500部

べるNo.155 B5判 32頁 4,500部

べるNo.156 B5判 32頁 4,500部

オ. (社) 日本自閉症協会

いとごNo.128 A4判 16頁 16,000部

- いとしごNo.129 A4判 16頁 16,000部
- いとしごNo.130 A4判 16頁 16,000部
- いとしごNo.131 A4判 16頁 16,000部
- いとしごNo.132 A4判 16頁 16,000部
- いとしごNo.133 A4判 16頁 16,000部
- かがやきNo.8 A4判 64頁 16,000部
- カ. (社) 全国肢体不自由児・者父母の会連合会
 - いずみNo.135 B5判 12頁 7,200部
 - いずみNo.136 B5判 12頁 7,200部
 - 療育ハンドブック A5判 64頁 7,000部
- キ. 全国聾学校PTA連合会
 - 会報No.210 B5判 10頁 11,000部
 - 会報No.211 B5判 10頁 11,000部
 - 会報No.212 B5判 10頁 11,000部
 - 道標No.38 B5判 46頁 11,000部
 - 全国聾学校陸上競技大会要綱 A4判 100頁 1,000部
 - 全国聾学校陸上競技大会ポスター A2判 300枚
 - 全国聾学校卓球大会要綱 A4判 46頁 700部
 - 全国聾学校卓球大会ポスター B2判 300枚
- ク. 全国盲学校PTA連合会
 - 手をつなごうNo.40 A4判 38頁 5,500部
 - 手をつなごうNo.41 A4判 8頁 5,500部
 - 全国盲学校野球大会要綱 A4判 36頁 700部
 - 全国盲学校野球大会ポスター A2判 350枚
- ケ. 全国病弱虚弱教育学校PTA連合会
 - 会報No.33 A4判 16頁 4,500部
- コ. (社) 日本てんかん協会
 - 会報「波」4月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」5月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」6月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」7月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」8月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」9月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」10月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」11月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」12月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」1月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」2月号 B5判 46頁 6,900部
 - 会報「波」3月号 B5判 70頁 6,900部

- 「てんかん」入門シリーズ—よくわかるてんかんのくすり— B5判 80頁 4,000部
- サ. 全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会
会報No.75 A4判 18頁 29,000部
会報No.76 A4判 18頁 29,000部
- シ. 全国視覚障害児(者)親の会
会報「つえ」No.58 B5判 16頁 2,000部
会報「つえ」No.59 B5判 24頁 2,000部
- ス. 全国肢体不自由養護学校PTA連合会
会報No.102 A4判 106頁 10,000部

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社会福祉法人全国心身障害児福祉財団(ゼンコクシンシンショウガイジフクシザイ
ダン)

住所：162-0051

東京都新宿区西早稲田2-2-8

代表者名：理事長 伍藤 忠春(ゴトウ タダハル)

担当部署：業務部(ギョウムブ)

担当者名：企画調査係長 町野 忠史(マチノ タダシ)

電話番号：03-3203-1284

F A X：03-3208-1337

E-mail：gyoumubu@shougaiji-zaidan.or.jp

U R L：<http://www.shougaiji-zaidan.or.jp/>